

---

# 猫の1日

うめ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

猫の1日

### 【著者名】

うめ

### 【Zコード】

N6252A

### 【作者名】

【あらすじ】

今日もバカ主との生活を繰り広げる猫の1日

(前書き)

初めて書いた小説です。おかしな所など様々あると思いますが読んでみてください。

『朝』

「め～い！！！」

今日も朝から煩い言葉と共に主が飛びついてくる。めいと言つのは私の名前だ。結構気に入つてゐる。そんなことより主から逃げねば！

主の手が届く寸前、一瞬早く主の手を回避。それで諦める主ではない。ジリジリと微笑を顔に携え詰め寄つてくる。

朝からこんなことして遅刻しないのか？と私は思つ。

一瞬動きが止まつた私を見て主は人間を超越した動きで手を伸ばした。くつ速い！避ける間もなく捕らえられてしまつた。

捕まつてしまつた私は抵抗することなく主に体中をワシャワシャされた。

主は私を捕まえて満足したのかテレビで時間を確認した

「遅刻する~~~~~！」

とバックを持ち凄い勢いで外へ飛び出していった。窓から外を観て、小さくなつていく主を見つめ私は朝の朝食を終えいつものように主のベッドに忍び込み眠りについた。

『昼』

ふと目を覚ました私は時間を見る。

13時か・・・よく寝た。

それより暇だ。その理由は一軒隣の家に住む黒猫ボンが今日は来ていなかつからだ。まあ来たら窓越しに威嚇をするだけだが・・・。来ないのはつまらない。私は家から出してもうえないので会いに行くことは不可能。

よつて暇確定。ちなみに私は夜行性ではなく昼行性だ。産まれたときから人の生活に触れていたためかそうなつた。なので昼に寝るとはしない。

仕方がないので扉を開け階段へ行く。主の部屋は一階だからな。階段の一番上の窓枠まで移動した私は窓から外を眺めた。

この景色は結構好きだ。公園で遊ぶ子供などを観ることができると。お？太極拳をやつている老人を発見。一心不乱に型をしている。・・楽しいのか？という疑問が頭をよぎつたが気にしないことにした。生い先短い老人の趣味にケチをつけては失礼だからな。空の色が水色から赤へ変わってきた頃、主が帰つてくる姿があつた。

#### 『夜』

夕方帰つてきた主はパジャマに着替えるとそのまま眠りについてしまつた。

起きてきたのは夜の9時だ。ぼーっとしながらご飯を食べる主。こぼしてゐるこぼしてゐる！！寝ながら食べるな！にやゝ主に向かつて一鳴き。

「ん？どした？ご飯食べたいんか？」

とバカ主。自分のご飯を私の前に出してくる。なんとなくムカつたのでとりあえず手に噛みついてやつた

「痛つ！めい！俺が美味しそうだからつて噛むな！わかつたか？」

流石バカ主。説教の仕方もバカだ。

主はさつきまで寝てたくせにまた眠くなつたのか私を抱き上げると自分のベッドへ向かつた。私も眠かつたので主と一緒に寝る事にした。

私は今日も普通の一日だつたと振り返り眠りについた。

(後書き)

いろいろな意見や感想をもらえたとありがたいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6252a/>

---

猫の1日

2010年11月10日10時51分発行